社会:	資本総合團	M M M M M	·画	社会資	資本整	備総合多	₹付金																Ę	和03年01	月28日
計画の名称	尔 刈谷駅周辺	地区都市	市再生整備語	計画																					
計画の期間	引 令和03	年度	~ 令和	0 7年度	(5年間))															重	点配分対象	の該当	0	
交付対象	刈谷市																								
計画の目標	票 市の「顔」	として、	魅力的で	当が愛着を	E持ち、i	市内外に誇る	ることがて	できる高次都	都市機能を	備える駅ま	ち空間をつく	り、地域住	注民をはじめ、	、企業に勤	める多く	の就業者	、学生、	来訪者の誰	もが、集	[い、回道	遊しやす	い活気とに	ぎわいのむ	るまちづ	くりを
	目指す。																								
全体事業	費(百万円)	É	計(A+E	3 + C + D)		68	А		68 B		0 C		() D		0	効果仍	足進事業費	豊の割合	C / (A	+ B + C +	D)	0	%
											÷1	***********	中国的比插 》												
<u> </u>											計画のた	以未口信()	定量的指標)												
																			定量	量的指標	の現況値	直及び目標値	直		

		計	 画の成果目標(定量的打	[標]				
番号			定量的指標の現況値及び目標値					
自 笛写 	定量的指標の気	当初現況値	中間目標値	最終目標値				
						R2当初		R7末
1	駅前の路線価を190千円/㎡(R2)から225千円/㎡(R7)に上昇させる。							
	駅前路線価					190千円/㎡	千円/㎡	225千円/m ²
2	地元による新規のイベント実施回数を4回/年(R7)以上開催する。					-		1
	新規イベントの実施回数					0回/年	回/年	4回/年
3	駅周辺の居住人口を6,209人(R2)から6,362人(R7)に増加させる。					<u> </u>		
	居住人口(神明町、南桜町、桜町、相生町、中山町、幸町、神田町、若松町、住吉町	「、大手町、東陽町)				6209人	A	6362人
						-	<u>'</u>	1
							•	,
	備考等	個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含む	- 流域水循環計画を含む	- 地域再生計画を含む -

			事業	地域	交付	直接				要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	事業		間(年度)	全体事業費	費用	個別施設計
- 体的に実施することにより期待される効果 備考 3市再生整備計画事 (4)	基幹事業(大)	番号					事業者	種別 1	種別 2									
情報							」 される効果			(2 mm mm)	(,					()		
整備計画事業																		
小清十 68	市再生整備計画事	A10-001	都市再生	一般	刈谷市	直接	刈谷市	-	-	刈谷駅周辺地区都市再生	A=113.6ha	刈谷市				68		-
										整備計画事業								
							1											
会計 68 68 68 68 68 68 68 68 68 68 68 68 68												小計				68		
合計 68							1		l									
会計 68 68 68 68 68 68 68 68 68 68 68 68 68																		
												合計				68		
							1					I						
													П					
							1											
							I	1	<u> </u>									
																		1
							<u> </u>	1										

1

案件番号:

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R03	RO4	R05	R06	(14,47,113)
配分額 (a)	21	3	1	5	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	21	3	1	5	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	21	3	1	0	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	5	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場					
合その理由					